

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

令和5年度 評価基準

教科	図画工作	学年	第4学年					学校名:江戸川区船堀小学校	
題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	絵	2	身近なものを使って絵の具遊びをたのしむ。	知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。	知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかってい 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。	☆ いろいろな用具を使って絵の具で表すことに関心もち、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことを積極的にたのしもうとしてりしている。	絵の具、画用紙、ストロー、歯ブラシ、ビー玉、ばかし網、水彩用具など
				思	絵の具の新しい使い方をを見つけよう。	思	思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけている。		
				☆ 学	思いがけない形や色をたのしもう。	☆ 主	いろいろな用具を使って、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしてりしている。		
つけて、のばして、生まれる形	立体	2	粘土をつけたりのばしたりして、気に入った立体に表す。	☆ 知	いろいろな形の表し方を工夫しよう。	☆ 知	粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかってい 握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。	☆ 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかり、握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を繰り返し使いながら、自分のイメージに合わせていろいろな形の表し方を効果的に工夫している。	土粘土、粘土べら、粘土板、タオルなど
				思	粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。	思	粘土をつけたりのばしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。		
				学	粘土の感触を味わいながら、つくることをたのしもう。	主	粘土の感触を味わいながら、進んでつくることをたのしもうとしている。		
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知	色づくりや筆使いを工夫しよう。	知	身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかってい 絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。	☆ 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを積極的に考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆ 思	木を見たり触ったりして、表したいことを考よう。	☆ 思	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。		
				学	木を描くことをたのしもう。	主	身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。		
つないで組んで、すてきな形	工作	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	☆ 知	紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。	☆ 知	紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかってい 紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	☆ 紙バンドを曲げたり、折ったり、組み合わせたりなどいろいろ試みながら、形や色の感じがわかり、表したいことに合わせて効果的に組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	紙バンド、はさみ、ホチキス、接着剤、身近な材料など
				思	使ったり飾ったりするものを考えよう。	思	自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。		
				学	作品を使ったり飾ったりしてたのしもう。	主	紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾ものをつくることに主体的に取り組もうとしている。		
つながれ、広がれ！ だんボール	造形遊び	2	段ボール箱を切り分けて、つないだり組み合わせたりして活動する。	知	段ボールの切り方やつなぎ方を工夫しよう。	知	段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかってい 体全体を使って、切り方やつなぎ方を工夫し、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつくっている。	☆ 段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げて造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を新しく変化させたりして自分なりの考えを追求しながら、どのように活動するかについて考えている。	段ボール箱、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、結束バンド、割り箸など
				☆ 思	段ボールでどんなことができるか考えよう。	☆ 思	段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変化させたりしながら、どのように活動するかを考えている。		
				学	友達と力を合わせて活動しよう。	主	自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら、主体的に活動しようとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
かみわざ！ 小物入れ	工作	4	色厚紙で箱をつくり、それらを組み合わせて入れ物をつくる。	☆ 知	箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっている。 はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。	☆ 色厚紙を折ったり、切ったり、組み合わせたりしながら形や色などの感じがわかり、はさみやカッターナイフについての経験を生かして、表したい小物入れに合わせた効果的な箱のつくり方や組み合わせ方を工夫してつくっている。	色厚紙、カッターナイフ、カッターマット、定規、はさみ、目打ち、接着剤など
				思	使ってたのしい小物入れを考えよう。	思	自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくるかを考えている。		
				学	小物入れをたのしくつくろう。	主	小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。		
へんてこ山の物語	絵	6	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知	描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。	知	「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を表している。	☆ 奇想天外な「へんてこ山」の形から想像を豊かに広げ、思いついたお話をどのように表すかしっかりと考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆ 思	へんてこ山の形から、お話を考えよう。	☆ 思	「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。		
				学	へんてこ山を描くことをたのしもう。	主	「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。		
どろどろカッチン	立体	4	布を液体粘土で固めた形を生かして、立体に表す。	☆ 知	布の形や固め方を工夫しよう。	☆ 知	布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。 布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。	☆ 布や芯材に積極的に触れたりしながら、形や触り心地の変化などの感じがわかり、布や液体粘土の特性を効果的に生かして、表したい形になるように布の形や固め方を工夫している。	布、液体粘土、絵の具、身近な材料、ペットボトル・プラスチックカップなど、ビニル袋、トレイ、タオルなど
				思	布が固まった形から、表したいことを考えよう。	思	固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。		
				学	液体粘土の感触を味わおう。	主	液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。		
本から飛び出した物語	工作	6	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知	形や色を組み合わせ、つくり方を工夫しよう。	知	お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。 表したい場面に合わせて、形や色、身近な材料の使い方やつくり方などを工夫している。	☆ お気に入りの場面を意欲的に表し、友達などと活発に関わり合い、伝え合うことをたのしもうとしている。	段ボール、軽量紙粘土、絵の具、身近な材料、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				思	物語の場面が伝わるように考えよう。	思	物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えている。		
				☆ 学	お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。	☆ 主	お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。		
わくわくネイチャーランド	造形遊び	2	自然の場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。	知	場所に合った活動を工夫しよう。	知	活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかっている。 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。	☆ 自然の場所の特徴を生かして進んで関わり、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、次々に活動を思いついたり、豊かに変化させたりしながら、どのように活動するかを積極的に考えている。	段ボール箱、身近な材料や用具、粘着テープ、紙の粘着テープなど
				☆ 思	自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。	☆ 思	自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。		
				学	友達と協力してたのしく活動しよう。	主	身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動をしようとしている。		
飛び出すハッピーカード	工作	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくる。	知	飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。	知	飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。	☆ 贈る相手のことを具体的に思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かした多様な試みをし、どのように相手に合ったカードに表すか積極的に考えて取り組もうとしている。	カラーペン、色画用紙、画用紙、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、接着剤、色厚紙など
				思	贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。	思	贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。		
				☆ 学	カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	☆ 主	つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
何にかこうかな (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	画用紙以外のいろいろなものに描く。	☆ 知	材料に合った描き方を工夫しよう。	☆ 知	画用紙以外のものに描くことを通して、材料の特徴や感じがわかっている。 材料に合った描画材料を使い、表したいことの描き方を工夫している。	☆ 画用紙以外のものに描くことをさまざまに試し、材料の特徴や質感、描きたいことの形や色などの感じがよりよくわかり、材料に合った描き方を効果的に工夫している。	カラーペン、絵の具、片面段ボール、布、水彩用具など
				思	材料の特徴から描きたいことを考えよう。	思	材料の特徴をもとに、自分のイメージを広げて表したいことを見つけ、どのように描くか考えている。		
				学	画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもう。	主	画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもうとしている。		
キラキラワールド	絵	2	キラキラ光る紙を切ったり重ねたりして貼り絵に表す。	☆ 知	材料を生かした組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。 キラキラ光る材料の形や色、触感などを生かして、組み合わせや重なりなどを工夫している。	☆ キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりするなど、材料と豊かに関わり、それらの形や色の感じがわかるとともに、その形や色、触感を生かして、組み合わせ方や重ね方などを効果的に工夫している。	キラキラした材料、画用紙、色画用紙、はさみ、接着剤など
				思	材料の特徴から表したいことを考えよう。	思	キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考えている。		
				学	キラキラ紙を使って、絵にすることをたのしもう。	主	キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。		
学校もりあげマスコット	絵	2	学校生活をたのしませたり手伝ってくれたりするマスコットを描く。	知	マスコットの形や色を工夫しよう。	知	マスコットを描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。 表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。	☆ 学校を盛り上げるマスコットを意欲的につくって、学校内のさまざまな場所に飾り、学校生活を盛り上げることを積極的にたのしもうとしている。	鉛筆、色鉛筆、カラーペン、板目紙、厚紙、はさみなど
				思	場所や物から、マスコットを考えよう。	思	学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。		
				☆ 学	マスコットをつくって飾ってたのしもう。	☆ 主	学校もりあげマスコットをつくり、学校内に飾ることをたのしもうとしている。		
絵から聞こえる音	鑑賞	2	絵から感じた音を形や色で表し、互いの感じ方の違いを味わったりたのしんだりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知	感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しよう。	知	自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっている。 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。	☆ 積極的に友達と関わり合い、互いの感じ方の違いやよさを深く味わったり、たのしんだりしようとしている。	クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、作家作品の複写など
				思	感じた音から、形や色で表すことを考えよう。	思	自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。		
				☆ 学	互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。	☆ 主	互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。		
つくって、つかって、たのしんで	工作	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ってたのしいものをつくる。	☆ 知	板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりにして、形や色やその組み合わせの感じがわかっている。 のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	☆ のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板の組み合わせを試したりして、板の形や色やその組み合わせの感じがわかるとともに、のこぎりや用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を積極的に工夫している。	板材、のこぎり、紙やすり、角材、接着剤、絵の具、水彩用具など
				思	使ってたのしいものを考えよう。	思	板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見通しをもって考えている。		
				学	作品をつくってたのしもう。	主	つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。		
ほって表す不思議な花	絵	6	不思議な花を版木に彫刻刀で彫って木版画に表す。 ※彫刻刀の使い方に慣れる。	☆ 知	彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。	☆ 知	彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	☆ 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色の感じがわかるとともに、彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫刻刀を選んだり、彫り方や刷り方などをいろいろと試したりしながら工夫を十分に加えて効果的に表している。	版画インク、版画用具、版木、版画用具、ばれん、彫刻刀、すべり止め、新聞紙など
				思	表したい花を考えよう。	思	彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。		
				学	彫って刷ることをたのしもう。	主	版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
トントンつないで	工作	4	角材と薄い板を釘でつなぎ、動くものをつくる。 ※きりの使い方、金づちと釘の使い方に慣れる。	☆ 知	つなぎ方や動き方を工夫しよう。	☆ 知 角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっていいる。 のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。	☆ 角材と薄い板を組み合わせたときの動きを何度も試すことを通して、形や色、組み合わせたときの動きの感じがよくわかり、のこぎりや金づち、釘などを適切に使い、効果的なつなぎ方や動き方になるように工夫して表している。	角材、薄い板材、アイスのへら、のこぎり、金づち、釘、きりなど
				思	動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。	思 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにするか考えている。		
				学	切ったり、つないだりすることをたのしもう。	主 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。		
ゆめいろらんぷ	工作	4	透明容器と色セロハンなどを組み合わせ、ランプをつくってみんなで飾る。	知	ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。	知 光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっていいる。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。	☆ 材料を透過する光の美しさや影の形の面白さなどを自分の感覚で十分に味わいながらランプをつくり、友達と協力してランプを飾ることを積極的にたのしもうとしている。	透明空き容器、光を通す材料、リサイクルばさみ、接着剤、LEDライト、段ボール箱など
				思	光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。	思 映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。		
				☆ 学	ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	☆ 主 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。		